

遅れましたが、おめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

また先程の意見発表は、堂々と、はっきり思いを述べていて、とても良かったです。

さて、3学期が始まりました。この学期の授業日数は、1月が16日、2月が18日、3月が1、2年生は18日、3年生は12日で、合計が1、2年生は52日間、3年生が48日間となり、2学期よりも30日以上少なく、短い学期です。

1年生にとっては、今月の29日に小学6年生対象の入学説明会が行われるように、先輩としての態度や自覚を一層深める時期となります。2年生は、最終学年となる3年生に向け、学習と進路に力を入れつつ、予餞会の企画を進めるなど、学校における中心的存在感が一層増してきます。そして、3年生。進む道を決め、後輩により良き伝統を残しながら、卒業の日を迎えることとなります。全学年とも新年の決意を忘れず、手の届きそうな一段高い目標を定めながら、日々を過ごして欲しいと思います。

ここで今学期、私から特に期待することをお話します。それは、「徳を磨く」ということです。徳という漢字は「人の性格で、生まれつきまたは生活する中で身につけているもの」や「人間性・性格・考え方を良くするために、人の修得すべきもの」さらには「人が善い事と悪い事を判断して正しい行為をする為に、守り従わねばならない手本の全体」という意味をもっています。松下幸之助という人物を聞いたことがありますか？ 彼は、明治27年に生まれ、94歳でこの世を去っていますが、現在の大企業であるパナソニックを一代で築き上げた経営者で、「経営の神様」との異名をもつ素晴らしい方です。

この松下氏の言葉を1つ紹介します。

「人間として一番尊いものは徳である。だから、徳を高めなくてはいかん。技術は教えることができるし、習うこともできる。けれども、徳は教えることも習うこともできない。自分で悟るしかない。実力のある、徳をそなえた人に対しては、何か困ったことがあれば、一つあの人の意見をきいてみようということ、相談にくる人も少なくないと思います。これはつまり、困ったときに自然と相談したくなる人が徳のある人である、ということでしょう。」

彼は、徳のもつ重要性を説いているのですが、例えば「思いやり」について考えてみると、この徳を磨くことで、友達や仲間との付き合いが一層滑らかになったり、相手が心地よさを感じてくれたりすると思います。また困難に負けない「強い意志」を磨くことで、より高い目標を超えることができたり、取り組む姿が周りに勇気を与えたりすることが増えるかも知れません。私は、徳を積み重ねて行くことは、学ぶ力や生き抜く力を伸ばすことに自然と繋がっていくと確信しています。徳目は他にも「公正、公平」「感動」など、全部で22あります。コロナ禍において、心のつながりが薄れがちとなる今だからこそ、徳

のある豊かな人間性を養って欲しいと思います。

結びに、学校生活では楽しいこともあれば、嫌なこと・つらいことも、起こり得ます。でも中学校は、社会へ出るトレーニングをしているところです。うまく行かなくても、やり方を変えて見たり、誰かに相談したりするなどして、トライし続けましょう。めげずに立ち上がる復元力、そして井波中生の底力を信じています。

今学期が、一年間のまとめ、そして三年生にとっては義務教育の最終にふさわしい学期となることを祈念して、式辞とします。